

平成26年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成27年3月末現在) (NO:1)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
1 土 (1)	H26.04.23 16:30 草刈・除草	道路	道路舗装の目地部の雑草を草刈機で除草していたところ、小石が縁石に当たり、その小石が道路側に跳ね返って通行中の一般車両に当たりフロントガラスを損傷させた (物損事故) 公衆災害	・飛び石の跳ね返りが懸念される箇所では肩掛け式草刈り機を使用した ・飛び石ガード形状が直線的	・跳ね返りが懸念される箇所では手作業またはトリマー(バリカン式)で施工する ・コの字型の防護ネットとする
2 土 (2)	H26.04.24 11:30 架空線・埋設物	道路	準備工として法面の木を伐採していたところ、電柱に添架している通信ケーブルに木からツルが伸びてからみついており、倒木時にこのツルがケーブルを引っ張り損傷させた (物損事故) 公衆災害	・防護管養生を怠った ・上空支障物の確認を怠っていた	・防護管養生の徹底 ・上空支障物の状態確認の徹底
3 土 (3)	H26.05.13 11:30 転落・墜落	道路	点検計画ルート上の草木の繁茂が著しかったことから、斜面を歩くことは危険と判断し、ルートを急遽変更して、擁壁(高さ2.5m)から直接道路へ降りた際、足に受けた衝撃で負傷した 男 49歳(右踵骨骨折)約1か月の入院	・被災者が調査ルートの変更を単独で判断した	・単独行動禁止の徹底
4 都 (1)	H26.05.17 14:00 工具・資材	街路	集水桝の型枠解体時にベビーサンダーを右手で使用し型枠を切断していたところ、刃の回転の勢いに押され、ベビーサンダーが作業員の左手に当たり負傷した 男 69歳(左示指・中指開放骨折、左環指挫創)2~3週間の通院加療	・作業員の不注意	・安全教育の徹底
5 土 (4)	H26.05.30 11:40 工具・資材	道路	作業員が鎌により枝を小割してトラックに積み込む作業を行っていたところ、毛虫が大量に付着していたため枝をしっかりと握るのを躊躇した状態で小割した際に誤って左手に鎌が当たり負傷した 男 19歳(左手挫創)2週間の通院加療	・作業員の不注意	・安全教育の徹底
6 林 (1)	H26.06.18 9:15 転落・墜落	治山	谷止工鉛直打継凹凸部の脱型作業中、これまでの作業では簡単に外れなかったものが、最初に力を加えた時に型枠が外れて落下したため、体勢を崩し型枠とともに約7.2m転落し負傷した 男 74歳(外傷性気胸、多発肋骨骨折、腰椎横突起骨折)2週間の入院	・安全帯を使用していなかった	・安全教育の徹底
7 都 (2)	H26.07.01 11:10 架空線・埋設物	街路	擬木柵の柱を打ち込み機にて打ち込んでいたところ、埋設されていた電気ケーブルに接触し一部破損させた。 (物損事故) 公衆災害	・埋設物の存在を失念し、埋設物の正確な位置確認を怠った	・埋設物の位置確認の徹底
8 都 (3)	H26.07.10 15:50 転落・墜落	建築	既設室内配管の撤去作業中、足場台(立馬)より足が滑り、転落する際に右手で天井地下材につかまったが落下した。右手を下地材で裂傷し、床面に着地後転倒して左肩を負傷した。 男 21歳(頭部打撲、左肩打撲)1週間の加療	・作業員の不注意	・安全教育の徹底 ・立馬は手すり付きのものを使用する

平成26年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成27年3月末現在) (NO:2)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
9 都 (4)	H26.07.15 16:30 工具・資材	建築	基礎配筋の余分な鉄筋(ふかし部)をグラインダーにて切断していたところ、工具が軍手をした手より離れ、左手首に当たり負傷した。 男 63歳(左手関節内側挫滅創)約2週間の加療	・作業員の不注意	・安全教育の徹底 ・滑り止め付き手袋を使用する
10 土 (5)	H26.07.16 14:50 交通事故	河川	工事現場から資材置き場へ資材を取りに行く最中、見通しの悪い下り曲線部において、一般車両と正面衝突し負傷させた。 (人身事故) 公衆災害	・双方運転手の前方不注意	・安全運転教育の実施
11 都 (5)	H26.07.28 11:30 転落・墜落	上下水	掘削箇所内部へ進入する際に、昇降用梯子ではなく仮置きした別の梯子に足をかけたため、バランスを崩して転落し、約1.3m下で待機中の作業員に接触し、更に0.7m下の掘削箇所底部に落下し負傷した。 男 28歳(腰部挫傷)5日間の加療	・掘削断面内で梯子を仮に立てかけていた	・作業範囲に余分な資材等を残置しない ・昇降用梯子に昇降口看板を設置する
12 都 (6)	H26.07.31 9:05 架空線・埋設物	建築	給水管切り替え工事箇所に不明な埋設管が存在することが判明したため、試掘(ブレーカー)を行ったところ、埋設の玉石や堅樋の横引き管が作業の障害となり、ブレーカーの制御がうまくいかず、給水管を破損し漏水が発生した。 (物損事故) 公衆災害	・作業員の不注意	・安全教育の徹底
13 土 (6)	H26.07.31 15:00 工具・資材	砂防	型枠組立作業において、木製型枠を電気丸ノコで切断していたところ、安全保護カバーが切断後に自動で戻るはずが戻らなかったため、作業員の作業ズボンに刃先が絡まり、右足膝下を負傷した 男 74歳 調査中	・切りくずの除去を怠った ・刃の回転が停止していない状態で移動しようとした	・安全教育の徹底 ・取扱説明書の安全上の注意事項を熟読させ遵守させる
14 都 (7)	H26.08.19 9:20 架空線・埋設物	上下水	架空線下にて水道管の位置を把握するため、バックホウにて掘削していたところ、水道管発見時にオペレーターと監視員が一瞬気を取られた際に、誤ってアームを上げたため架空線を損傷させた。 (物損事故) 公衆災害	・監視員が機能しなかった ・具体的な監視方法や合図等の役割分担が不徹底	・安全教育の徹底 ・役割分担の徹底
15 土 (7)	H26.08.19 16:10 草刈・除草	道路	道路舗装とブロック積天端の隙間に生えていた雑草を草刈り機と防護ネットを用いて除草作業していたところ、小石が通行中の一般車両に当たり損傷させた。 (物損事故) 公衆災害	・障害物を除去しなかった ・小石がガードレールに当たって跳ね返り防護ネットを飛び越えた	・障害物を事前に除去し、跳ね返りの有無を点検する ・防護ネットを広くし、車両通行時は作業を止める
16 土 (8)	H26.08.26 9:10 草刈・除草	道路	草刈り機と防護ネット(コの字型)を用いて除草作業していたところ、飛び石が通行中の一般車両に当たり損傷させた。 (物損事故) 公衆災害	・防護ネットの捕捉範囲が不足していた	・防護ネットの両サイドを延長する

平成26年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成27年3月末現在) (NO:3)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
17 土 (9)	H26.09.03 9:00 工具・資材	道路	くさび型足場を解体作業中、縦単管から横単管を取り外そうと、ハンマーにて下側から横単管を叩こうとしたところ、誤って左手小指を叩き負傷した。 男 31歳(左小指末節骨開放骨折他)1か月の安静加療	・本人の不注意	・印を付けて、印よりも外側を持つよう注意喚起する
18 土 (10)	H26.09.17 19:00 交通事故	道路	自転車で走行中の通行者が施工箇所を通過した際に、道路側溝と瀝青安定処理との段差(H=5cm)にハンドルを取られ転倒し、路外にうつ伏せ状態で落下(H=1.5m)し負傷した。 (人身事故) 公衆災害	・保安施設の不備	・保安施設設置の遵守
19 林 (2)	H26.09.20 10:53 交通事故	治山	自転車で走行中の通行者が、道路を横断していた片側交互通行用の信号機の電源コードのカバー(H=5cm、W=7cm)に乗り上げて転倒し負傷した。 (人身事故) 公衆災害	・通行者の不注意	・段差有り看板を設置し更なる注意喚起を行う ・道路の利用状況に応じた段差対策を実施する
20 土 (11)	H26.10.03 11:05 架空線・埋設物	道路	擁壁の埋戻し作業中に、交代のため誘導員が一時的に現場を離れた際に、運転手がバックホウのアームを上げたため、宅内引込線に触れて破損させた (物損事故) 公衆災害	・誘導員が不在であるにも関わらず作業を行った	・誘導員の指示に従うよう徹底する
21 土 (12)	H26.10.06 5:40 交通事故	道路	舗装補修において上層路盤完成区間と既設舗装との擦り付けを掘削にて行い、交通開放していたところ、台風による降雨により上層路盤が剥離して穴があき、通行車両2台のタイヤを損傷させた (物損事故) 公衆災害	・切削時の振動や走行車両の振動により緩みが生じた ・路盤状態で長期間交通開放した	・現場終了後は不完全な場所が無い点検を行う ・長期間の路盤開放や週末を挟んだ施工計画は控える
22 土 (13)	H26.10.15 10:50 架空線・埋設物	道路	現場事務所に置いてあった仮設トレをクレーン付きトラックにて運搬しようとしていたところ、急にトレに行きたくなり、運搬先とは逆方向に向かっていた。この時、クレーンのフームが格納していない状態であったため、架空線に接触し損傷させた (物損事故) 公衆災害	・作業手順が守られていなかった ・一人作業であった ・注意力の低下	・安全教育の徹底と安全作業の再確認 ・一人作業の排除 ・体調管理の徹底
23 林 (3)	H26.10.18 13:00 転落・墜落	その他	歩道の路面整備にあたり、被災者が作業箇所に向かったところ、地元で設置した獣害防止柵が倒れ掛かっているのを発見したため補修し出来栄を確認しようとした際に足を踏み外して転落し負傷した 男 54歳(両恥骨骨折、仙骨骨折、右腸骨骨折)6週間の加療	・本人の不注意	・安全教育の徹底 ・トラロープと赤旗にて地山との境界を明確化する
24 土 (14)	H26.10.27 10:41 落下物・飛来物	道路	トンネルの既設目地材を撤去するにあたり、飛散防止対策のローリング足場(防護ネット付)を準備していたが、下部付近の撤去ならば飛散しないだろうと思い作業を行ったところ、目地材が飛散し、通行車両に当たり損傷させた (物損事故) 公衆災害	・安全対策を行わないまま作業を行った	・安全対策の徹底

平成26年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成27年3月末現在) (NO:4)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
25 都 (8)	H26.10.28 11:45 工具・資材	建築	工事を休工するため、現場作業用の仮囲い出入口パネルゲートをチェーンとダイヤル錠で施錠していたところ、強風時にダイヤル錠が外れたため、風にあおられたパネルゲートが付近に駐車していた一般車両に接触し損傷させた (物損事故) 公衆災害	・ダイヤル錠が強風にあおられたパネルゲートの荷重に耐えうるものではなかった	・荷重に耐えうるダイヤル錠を使用する ・チェーンは3重巻にする
26 土 (15)	H26.11.22 15:00 架空線・埋設物	道路	既設の道路側溝のコンクリート蓋をバックホウ(0.45m3)により吊り上げてダンプトラック(4t)に積込もうと旋回したところ、バックホウのアームが架空線に接触し損傷させた (物損事故) 公衆災害	・監視員等の安全対策が実施されていない ・架空線に係る安全教育を実施していない	・安全対策の実施 ・安全教育の実施
27 林 (4)	H26.12.5 9:50 立木処理	治山	斜面の立木を伐採して枝を払い、ワイヤーを掛けて集材機により下方へ牽引していたところ、伐採木の下に転石があったため転石を支点に先端が下がってバウンドし、ワイヤーが緩み外れた後、約87m滑り落ちて倉庫の壁を損傷させた (物損事故) 公衆災害	・伐採木が転石の上に乗っている状態が危険であると認知せず牽引を行った	・障害物を避けた場所へ移動してから牽引する ・玉掛けには安全フックを使用する
28 土 (16)	H26.12.10 11:50 架空線・埋設物	道路	U型カルバートを設置するためバックホウ(0.45m3)にて床堀していたところ、民家への上水道の引き込み管(φ40)を破損させた (物損事故) 公衆災害	・本管の確認はしていたが、引き込み管の確認をしていなかった	・埋設物調査の徹底
29 農 (1)	H26.12.15 14:53 架空線・埋設物	農地	擁壁工を施工するためバックホウ(0.25m3)にて床堀を行っていた際に、床堀位置確認のため、測量を行ったところ床堀幅の不足箇所があったため、再度床堀を再開したところ、過剰に床堀してしまったため埋設されていた埋設管を損傷させた (物損事故) 公衆災害	・監視員が不在時に床堀を行った 埋設管破損事故防止のため現場代理人が実施	・監視員が不在時には床堀を実施しない
30 土 (17)	H26.12.16 9:50 飛来物・落下物	道路	掘削用機材を荷下ろしするため、クローラークレーン(150t吊)のブームを起伏回転させたところ、ブームより落下した雪がクレーンキャビン上方及び前方のガラスを突き破り、オペレーターの頭上に落下し負傷した 男 40歳(頸椎捻挫)2週間の加療	・除雪が不完全な状態だった ・完了確認をオペレーター1人で行った	・除雪は水平に近い状態で除雪し起伏・旋回時は監視員を設置 ・除雪を始業前点検に加え、2名で点検する
31 土 (18)	H26.12.19 10:00 工具・資材	砂防	コンクリート養生用のブルーシートを張るため単管を組立中、固定クランプから単管が外れ、その下で打設作業をしていた作業員の方に単管が倒れ負傷した 男 56歳(右肩甲骨骨折)6週間の加療	・上下作業を行った ・KYにおいて養生作業の項目がなく危険作業への認識が低かった	・上下作業の禁止 ・安全教育の徹底
32 農 (2)	H26.12.19 14:30 転倒	農地	生コン打設に先立って、打設高さの測量を行う前に現場の状況を確認しようと歩いていたところ、コンクリート上にしみ出した水が凍結していることに気づかず歩いたため、足を滑らせ70cmの段差を落ちて負傷した 男 62歳(右足関節外果骨折)4週間の加療	・事前に安全な通路を通るよう指導していなかった ・危険予知の認識不足	・通路には安全ロープ等の安全対策を講じる ・安全教育の徹底

平成26年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成27年3月末現在) (NO:5)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
33 土 (19)	H27.1.7 15:20 建設機械	道路	生コン車から生コンをホッパーに入れ、バックホウが後退し、打設位置まで移動していたところ、後部にいた交通誘導員と接触し負傷させた 男 65歳(骨盤骨折他)2か月の加療	・バックホウ運転手が後方確認を怠った ・交通誘導員がバックホウの作業範囲内に入ってしまった	・監視員を配置する ・バックモニター、サイドミラーの確認に加え合図(グーパー運動)を併用する
34 林 (5)	H27.1.16 9:45 交通事故	治山	ポリエチレン管(150 L=5.0m 2本)を2tダンプにて運搬中、横断溝を通過した際に上下に弾み、その衝撃で管が跳ね上がり荷台の外へはみ出した。運転手は気づかず走行したため、対向車線を走行していた一般車両に接触し損傷させた (物損事故) 公衆災害	・管をロープで1点固定すれば脱落しないと思いついた ・車両が弾んだ際に、積荷の状況を目視確認しなかった	・安全教育の徹底
35 土 (20)	H27.1.23 10:15 飛来物・落下物	河川	工場塗装にあたり移動可能なテント内にある他の部材を、テントの外に出すためにテントを移動させたところ、突風が吹いて架台の上に載せていた陸閘が転倒し、傍らで休憩していた作業員が逃げ遅れ、右足を挟まれて負傷した 男 67歳(右中足骨骨折他)	・転倒する恐れはないだろうと安易に判断し、陸閘に転倒防止対策を行っていなかった	・転倒防止対策を実施(クランプ・万力等) ・安全教育の徹底
36 土 (21)	H27.1.25 11:10 架空線・埋設物	河川	河川内の土砂掘削作業中にバケットの爪が外れたため、一旦バケットを道路に上げて確認した結果、作業に支障はないと判断し 作業再開のためにバックホウを旋回させたところアームが電話線に接触し切断させた (物損事故) 公衆災害	・架空線に防護措置をしていなかった。 ・監視員が指示する前にオペレーターが重機を動かした	・防護カバー等の安全施設を設置する ・監視員の指示のもと作業するよう徹底する
37 土 (22)	H27.2.4 17:00 工具・資材	道路	後片付けにおいて余った仮設材のH鋼を既に置いてあったH鋼の上に重ねようとしたところ、その間に左手の指を挟んでしまい負傷した 男 43歳(左中指末節骨骨折・爪下血腫)	・作業を早く終わらせようと焦っていたための不注意	・安全教育の徹底
38 都 (9)	H27.2.6 9:45 工具・資材	建築	サンダーの砥石交換が必要となり交換した後、別の作業員が切断作業を行うためにコンセントに差ししたところ、本体のスイッチがオンとなっていたため、本体砥石が回転し左手人差し指にあたり負傷した 男 44歳(左示指切創)2週間の通院加療	・スイッチオフの確認不足	・安全教育の徹底 ・交換と作業を行う作業員を同一とする
39 土 (23)	H27.2.9 9:00 飛来物・落下物	道路	既設側溝を吊り金具を使用して一本ずつ撤去していたが、吊り上げたところ、次の側溝も繋がって吊り上げ、不安定な状態だったため作業員が吊荷に近寄った際に目地部で折れ、側溝が作業員の左足に落下し負傷した 男 37歳(第3足指末節骨骨折他)1か月の加療	・縁切りせず吊り上げた ・吊り上げ作業時に作業員が重機の作業半径内へ立ち入った	・側溝の連続性を断ってから撤去する ・安全教育の徹底
40 土 (24)	H27.2.13 9:30 転落・墜落	砂防	コンクリート打設中、バイブレーターかけ及びコンクリート均し作業を行っていた作業員が昇降階段による移動時(下降時)にバランスを崩し、一段下(1m下)の間詰コンクリート上に転落し、負傷した 男 20歳(第12胸椎圧迫骨折)5か月の加療	・安全意識不足	・安全教育の徹底

平成26年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成27年3月末現在) (NO:6)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
41 林 (6)	H27.2.21 16:45 工具・資材	治山	索道ウィンチの台座を3人で設置していた際、被災者が台座部材(L=2.4m、φ0.15×0.24m、重さ約25kg)の一方を持ち上げ、地面を引きずるように移動させていたところ、手が滑り左足に落として負傷した男 37歳(左足打撲)1週間の安静加療	・本人の不注意	・安全教育の徹底 ・足の甲をガードしたタイプの靴や運搬にはスリングロープを使用する
42 農 (3)	H27.2.23 14:30 架空線・埋設物	農地	客土を仮置き場から4tダンプに積込む作業を0.2m3級バックホウで行っていたが、効率が悪いと、0.25m3級バックホウへ入れ替えようと、道路上へ移動させようとした際、アームを伸ばしたまま回転させたため、誤って電話線を切断させた(物損事故) 公衆災害	・監視員等の保安措置を講じていなかった	・監視員等の保安措置を講じていなかった ・安全教育の徹底
43 都 (10)	H27.2.24 14:30 工具・資材	建築	資材を壁に立てかけた状態で、右足で材料を押さえながら両手でチップソー(鉄を切る電動丸ノコ)を持ち中腰姿勢で切断していたところ、チップソーがロックして跳ね返り、刃が右足に接触し負傷した男 40歳(右大腿四頭筋挫滅)4週間の加療	・横向きにし、安定した状態で切断すべきを、立てかけた状態で作業を行った	・安全教育の徹底
44 土 (25)	H27.3.2 9:05 架空線・埋設物	道路	T字路の待ち場にガードパイプを設置するため、支柱打込機を使用して支柱の打ち込み作業を行っていたところ、深さ約0.9mの位置に埋設されていた農業用水管を破損させた(物損事故) 公衆災害	・道路管理者より埋設管の情報提供がなかった	・占用物件の情報提供の徹底
45 土 (26)	H27.3.6 9:00 架空線・埋設物	災害	仮設道入口に碎石を敷きならすため、碎石をダンプトラック(10t)にて搬入し荷卸しを行ったところ、地上から5.3mの位置にある架空線に荷台が接触し切断させた(物損事故) 公衆災害	・誘導員の指差呼称等による確認の不足 ・防護管等安全対策の不実施	・誘導員を配置し指差呼称の徹底 ・注意看板や防護管の設置
46 農 (4)	H27.3.14 11:30 架空線・埋設物	農地	仮設進入路入口付近を整地しようと、仮設進入路を上る際に斜面を上るためバックホウのバケットを前面の路面にひっかけ、反力にして上ろうとしたところ、路面下部にあった水道管に引っ掛け、手前に引っ張ったことにより損傷させた(物損事故) 公衆災害	・埋設箇所の明示が不足していた(杭設置のみ) ・埋設物への認識が不足していた	・危険箇所を赤旗ロープで囲い更なる注意喚起を促す ・安全教育の徹底
47 土 (27)	H27.3.17 8:15 架空線・埋設物	災害	仮設道路の敷鉄板が、ダンプの通過によりずれていたため、バックホウ(0.7m3級)を用いて、敷鉄板の位置を元に戻そうとしていたところ、架空線の存在を忘れ、アームを上げたまま回転したため、架空線に引っ掛けて電柱を2本折損させた(物損事故) 公衆災害	・監視人が不在にも関わらず作業を行った	・監視人誘導のもと作業を行うよう徹底する
48 土 (28)	H27.3.17 13:50 架空線・埋設物	河川	橋脚の施工に向けて、施工基盤形成のためバックホウ(0.7m3)を用いて土砂掘削(切土、整地)を行っていたところ、埋設されていた水道管を引っ掛けて破損させた(物損事故) 公衆災害	・当該箇所に水道管は埋設されていないと思込み、十分な確認を行わなかった	・安易に埋設の有無を判断せず埋設物管理者の立ち会いを受けるよう徹底する

平成26年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成27年3月末現在) (NO:7)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
49 農 (5)	H27.3.24 11:50 転落・墜落	農地	洪水吐の断面に目地材を設置するため、清掃しようと型枠から飛び出していた桟木に手(足)を掛けたところ、木材が折れたため1.5m程度の高さから転落し負傷した 男 18歳(外傷性くも膜下出血、脳挫傷)4週間の安静治療	・桟木に手(足)を掛けた ・経験の浅い作業員へ事前に作業の注意点を指導しなかった	・断面部に足場を設置する ・安全教育の徹底
50 土 (29)	H27.3.28 10:50 交通事故	道路	片側交互規制範囲内に作業車5台を停車し、この横で交通誘導していた被災者が、停車車両の給水車タンクより水がオーバーフローしたためこれを避けようと車線に飛び出し、通行車両に接触し負傷した 男 66歳(調査中)	・作業範囲内に交通誘導者を配置していた ・給水作業を1人で言い監視者がいなかった	・作業範囲内への立ち入りを禁止(囲い対策) ・作業内容の情報共有や適正な人員配置、声掛けの徹底

